

第6回高等研究院レクチャーを開催

第6回高等研究院レクチャーが、3月29日(火)、野依記念学術交流館カンファレンスホールにおいて開催されました。

「環境学という学問を創る」をテーマに行われた今回は、本学教職員、学生や一般の方々など、約150名の参加がありました。

神沢 博環境学研究科教授の司会により進められ、ま



会場の様子

ず、グローバル COE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」の拠点リーダーである安成哲三地球水循環研究センター教授が、『地球学から基礎・臨床環境学への展開』のめざすものと題し、地域の環境の診断と治療に責任をもってあたる「臨床環境学」、また臨床を支える共通の基盤を地域の問題をまたいで構築していく「基礎環境学」のコラボレーションによって拓かれる最先端の環境学の創成や研究成果について紹介しました。

次に、中塚 武環境学研究科教授が、「人間社会は気候変動にいかに対峙できるか：高分解能古気候学を通して、歴史に学ぶ」と題し、気候・環境変動に対峙できる人間社会の在り方について解説した後、横山 智同研究科准教授が、「ラオスの環境問題：森林資源・人間活動・環境政策の諸相と動態」と題し、ラオスの農山村地域における自然と人間との相互関係及びその変化について講演しました。

引き続き、加藤博和同研究科准教授が、「人にも環境にもやさしい交通システムと地域づくりを目指して」と題し、低炭素型の交通システム・都市空間構造の理想像について、名古屋市を始め各地での低炭素型都市計画や地域交通計画の具体例を交え、講演しました。